ジェイテラス（F Rタイプ H）3尺～6尺

取付説明書 ―基本・連棟・出幅移動柱―

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

＜施工の前に＞

■正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

■設置場所の確認

●施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。

●施工場所の気象条件（風、雪など）に合った商品かどうか確認してください。

●強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。

■梱包明細で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

●本テラスはジェイテラス（３尺～６尺）です。
大出幅タイプのジェイテラス（７尺～10尺/積雪地用６尺）との互換性は、まったくありません。

■組立て、施工途中では

●ボルト、ビスは弊社純正品の規定本数を確実に締め付け固定してください。

●施工説明書の順序どおりに組付けてください。製品の強度など、性能を低下させる場合があります。

●アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。

●表面にキズをつけた場合、腐食の原因となりますので補修塗料で補修してください。

●腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。

■基礎工事について

●基礎部の埋め込み深さは製品ごとに決めてありますが、現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。

●塩分を含む砂は使用を避けてください。腐食の原因となります。やむをえず使用する場合は、十分水洗いしたものを使用してください。

●コンクリート（またはモルタル）には、急結剤は使用しないでください。使用しますとアルミが腐食する原因となります。

●モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因となります。

●製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは速やかに拭き取ってください。

■製品の改造は絶対にしないでください。

■組立完成後はボルト、ビスなどにゆるみがないか確認してください。

■施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

■梱包明細書（Fタイプと Hタイプの柱梱包は共通です。それ以外の梱包には互換性がありませんのでご注意ください。）

①柱セット

名称		員数 1本入	員数 2本入
柱		1	2
丸樋(柱にテープ止め)		1	1
部品箱内容	柱・桁ジョイント材	1	2
	柱・桁組付裏板	1	2
	柱・桁ジョイント材組付六角ボルト M8×16セムス(バネ、平座金)	2	4
	柱組付ネジ M5×12トラス	4	8
	アンカー棒	1	2

②屋根材セット

名称	員数 2枚入	員数 3枚入
屋根材	2	3

③出幅移動柱セット

名称		員数
出幅移動柱		1
梁		1
丸樋		1
部品箱内容	柱・梁連結金具(右・左)	各1
	柱・梁連結裏板	2
	梁・桁連結金具	1
	梁・桁連結裏板	1
	梁キャップ	2
	柱・梁連結金具組付六角ボルト M8×90	2
	M8用袋ナット	2
	M8用座金	4
	M8用バネ座金	2
	柱・梁・桁連結ボルト M8×14セムス(バネ、平座金)	6
	梁桁連結金具取付ネジ φ4×12トラス1種	4
	梁キャップ取付ネジ φ4×12サラ1種	4
	アンカー棒 φ9×150	1

④桁セット

名称		基本 1.0間	基本 1.5間	基本 2.0間	連棟 1.5間	連棟 2.0間
桁		1	1	1	1	1
垂木掛		1	1	1	1	1
屋根材受け(桁にテープ止め)		2	3	4	3	4
垂木掛ビート材(桁にテープ止め)		2	3	4	3	4
部品箱内容	桁キャップ(右・左)	各1	各1	各1	−	−
	垂木掛キャップ(右・左)	各1	各1	各1	−	−
	屋根材受け取付ネジ φ4×12トラス1種	4	6	8	6	8
	コーキング剤	1	1	1	1	1
	連棟用垂木掛け連結金具	−	−	−	1	1
	桁スリーブ	−	−	−	1	1
	垂木掛け取付コーチスクリュー φ6×70六角	3	4	5	4	5
	桁キャップ取付ネジ φ4×12トラス1種	4	4	4	−	−
	桁スリーブ固定ネジ φ4×12トラス1種	−	−	−	4	4
	雨樋セット アタッチメント	1	1	1	1	1
	アタッチメントパッキン	1	1	1	1	1
	アタッチメントジョイナー	1	1	1	1	1
	ドレンエルボ	1	1	1	1	1
	ドレンエルボキャップ	1	1	1	1	1
	エルボ	2	2	2	2	2
	雨樋キャップ(A・B)	各1	各1	各1	予備各1	予備各1
	丸型サドル	2	2	2	2	2
	サドル受け	2	2	2	2	2
	雨樋キャップ取付ネジ φ5×12トラス3種(生地)	2	2	2	予備2	予備2
	アタッチメント取付ネジ φ4×12トラス1種(生地)	2	2	2	2	2
	サドル取付ネジ φ4×19ナベテクス(生地)	2	2	2	2	2
	接着剤	1	1	1	1	1
	取付説明書	1	1	1	−	−
	取扱説明書(テラス)	1	1	1	−	−

⑤垂木セット

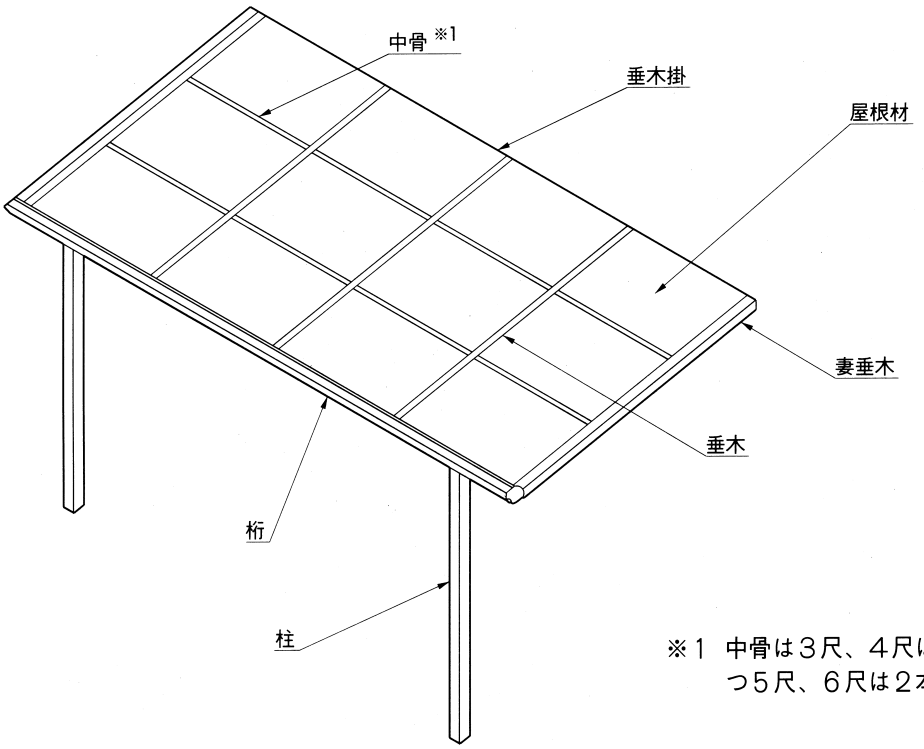
名称		員数 2本入 3尺	員数 2本入 4尺	員数 2本入 5尺	員数 2本入 6尺
垂木		2	2	2	2
垂木カバー		2	2	2	2
中骨		2	2	4	4
垂木取付ネジ φ4×12トラス3種		8	8	8	8
Rタイプ・Fタイプ	垂木カバー取付ネジ φ4×12ナベ先割2種(ゴムワッシャー付)予備含む	16	18	22	26
Hタイプ	垂木カバー取付ネジ φ4×12ナベ先割2種(ゴムワッシャー付)予備含む	11	13	15	19

⑥妻垂木セット

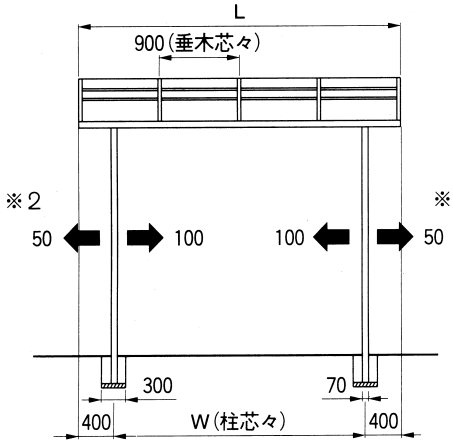
名称		員数 2本入 3尺	員数 2本入 4尺	員数 2本入 5尺	員数 2本入 6尺	員数 3本入 3尺	員数 3本入 4尺	員数 3本入 5尺	員数 3本入 6尺
垂木		−	−	−	−	1	1	1	1
妻垂木(右)(左)		各1	各1	各1	各1	各1	各1	各1	各1
垂木カバー		−	−	−	−	1	1	1	1
妻垂木カバー		2	2	2	2	2	2	2	2
中骨		1	1	2	2	2	2	4	4
垂木取付ネジ φ4×12トラス3種		8	8	8	8	12	12	12	12
Rタイプ・Fタイプ	垂木カバー取付ネジ φ4×12ナベ先割2種(ゴムワッシャー付)予備含む	16	18	22	26	23	26	32	38
Hタイプ	垂木カバー取付ネジ φ4×12ナベ先割2種(ゴムワッシャー付)予備含む	11	13	15	19	16	19	22	28

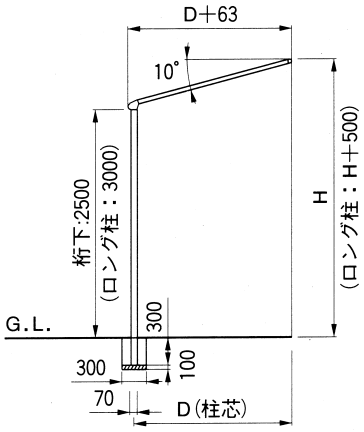
1.各部名称および基本寸法

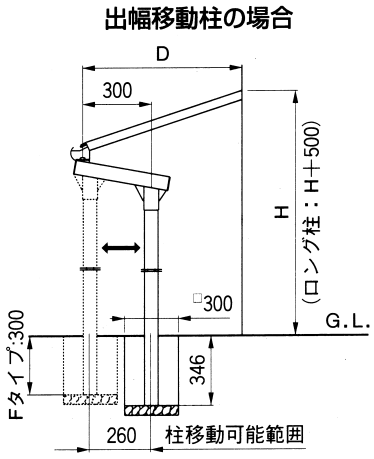
1-1 Fタイプ



※1 中骨は3尺、4尺は各垂木間に1本づつ5尺、6尺は2本づつとなります。







※2 柱の移動は上記内で施工してください。
外側に50㎜以上移動しますと、雨樋部品が組付きません。

間口	L	W
1.0間	1840	1040
1.5間	2740	1940
2.0間	3640	2840

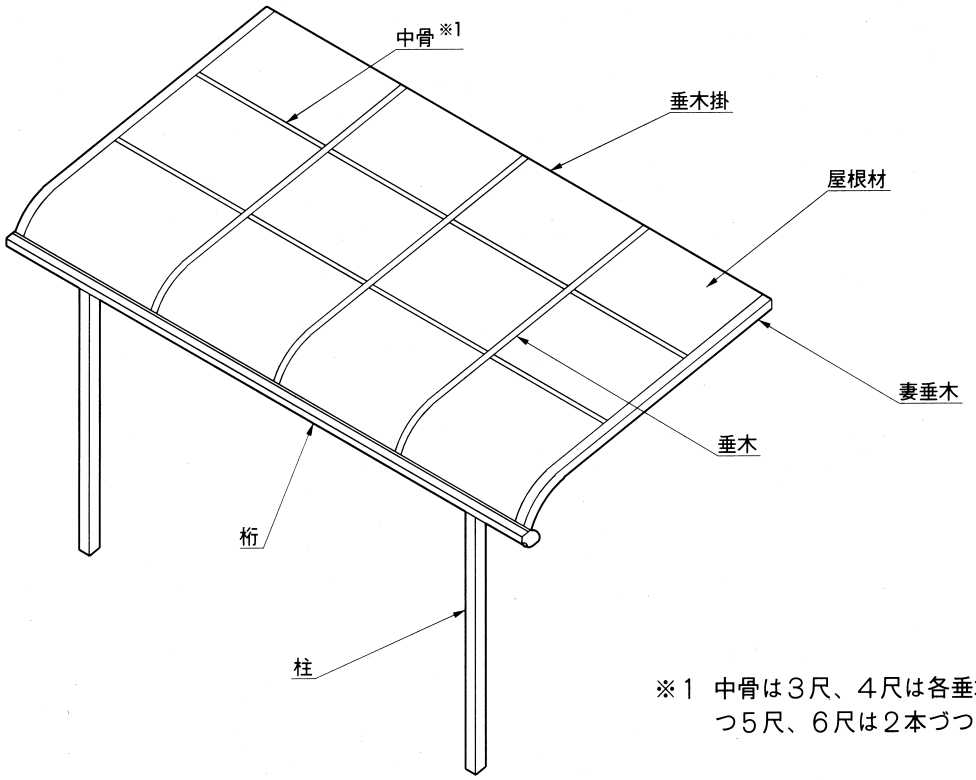
注) L寸はキャップを含みません。

	3尺	4尺	5尺	6尺
D(mm)	900	1200	1500	1800
H(mm)	2747	2800	2853	2906

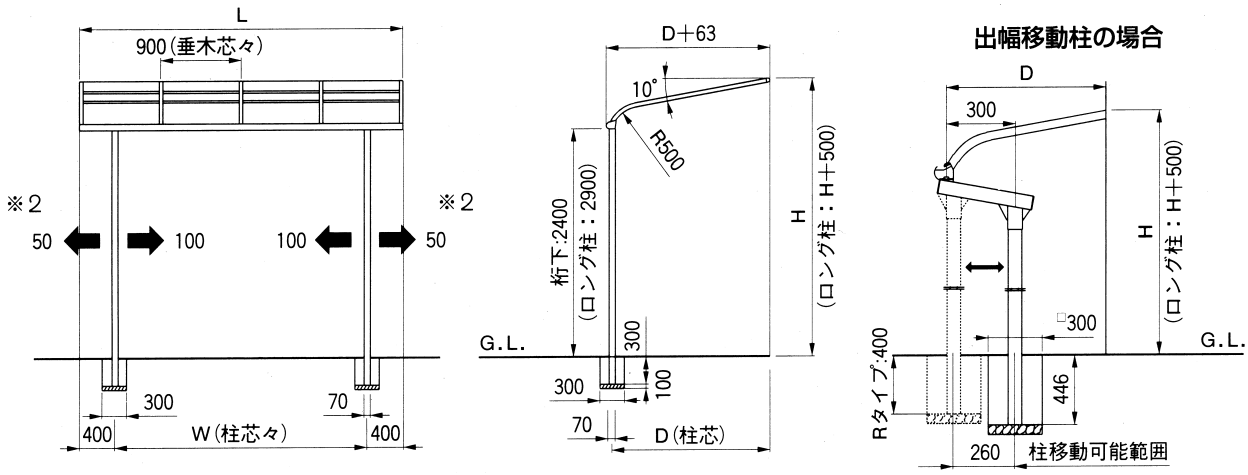
Hは垂木掛キャップの上端までを示します。

1.つづき

1-2 Rタイプ



※1 中骨は3尺、4尺は各垂木間に1本づつ5尺、6尺は2本づつとなります。



※2 柱の移動は上記内で施工してください。
外側に50㎜以上移動しますと、雨樋部品が組付きません。

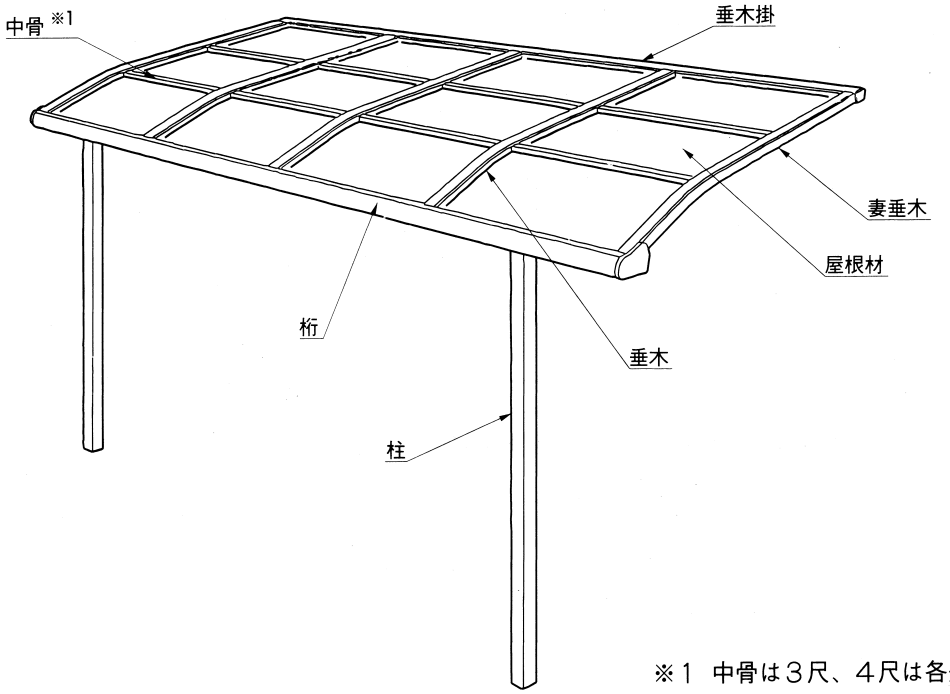
間口	L	W
1.0間	1840	1040
1.5間	2740	1940
2.0間	3640	2840

注) L寸はキャップを含みません。

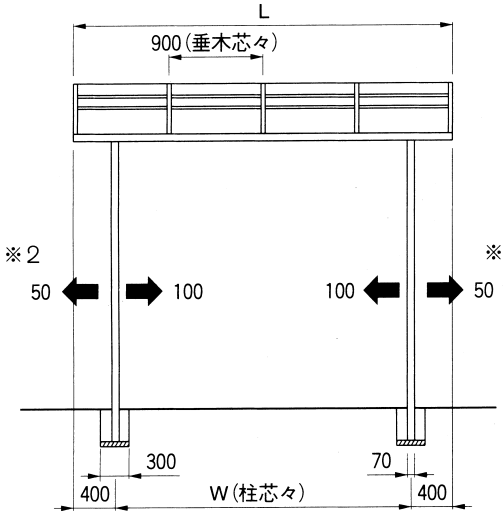
	3R	4R	5R	6R
D(mm)	900	1200	1500	1800
H(mm)	2884	2938	2991	3044

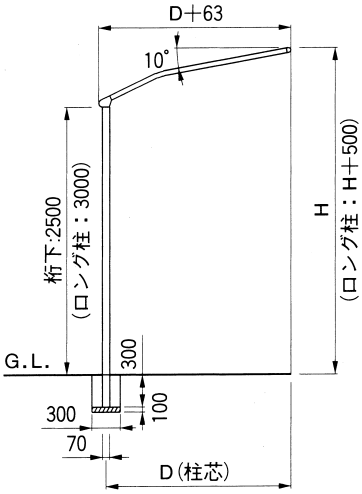
Hは垂木掛キャップの上端までを示します。

1-3 Hタイプ

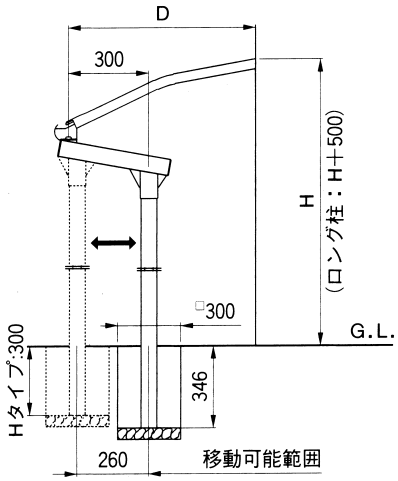


※1 中骨は3尺、4尺は各垂木間に1本づつ5尺、6尺は2本づつとなります。





出幅移動柱の場合



※2 柱の移動は上記内で施工してください。
外側に50mm以上移動しますと、雨樋部品が組付きません。

間口	L	W
1.0間	1840	1040
1.5間	2740	1940
2.0間	3640	2840

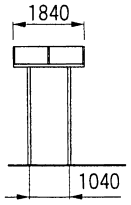
注) L寸はキャップを含みません。

	3R	4R	5R	6R
D(mm)	900	1200	1500	1800
H(mm)	2871	2950	2977	3056

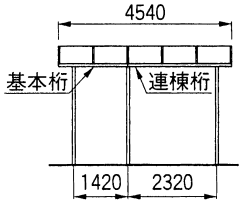
Hは垂木掛キャップの上端までを示します。

1.つづき

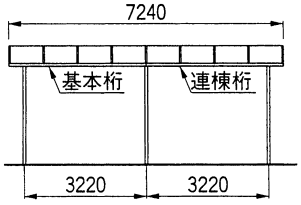
1.0間(基本)



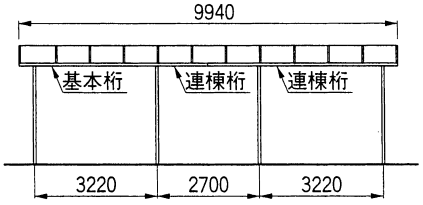
2.5間(基1.0間+連1.5間)



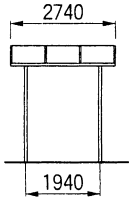
4.0間(基2.0間+連2.0間)



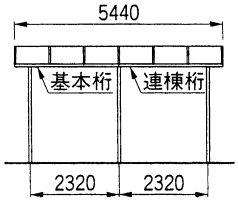
5.5間(基2.0間+連1.5間+連2.0間)



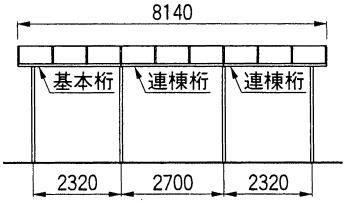
1.5間(基本)



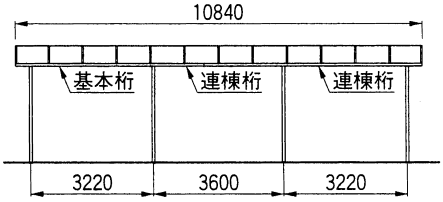
3.0間(基1.5間+連1.5間)



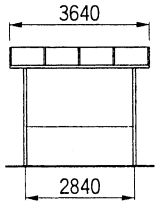
4.5間(基1.5間+連1.5間+連1.5間)



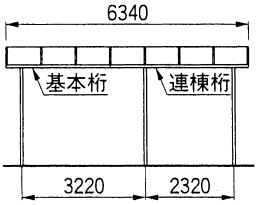
6.0間(基2.0間+連2.0間+連2.0間)



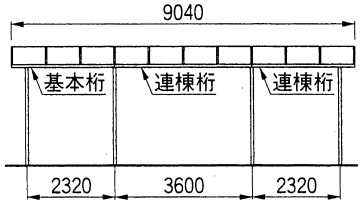
2.0間(基本)



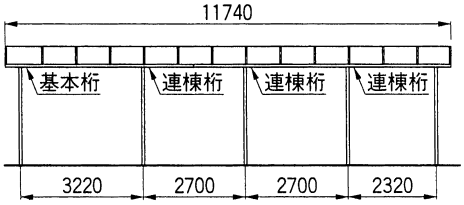
3.5間(基2.0間+連1.5間)



5.0間(基1.5間+連2.0間+連1.5間)

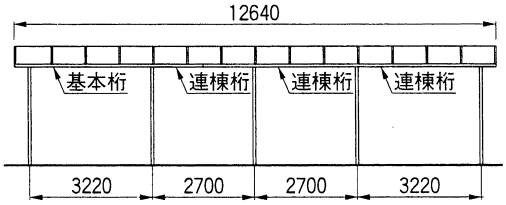


6.5間(基2.0間+連1.5間+連1.5間+連1.5間)



※ 基：基本　連：連棟

7.0間(基2.0間+連1.5間+連1.5間+連2.0間)



<注 意>

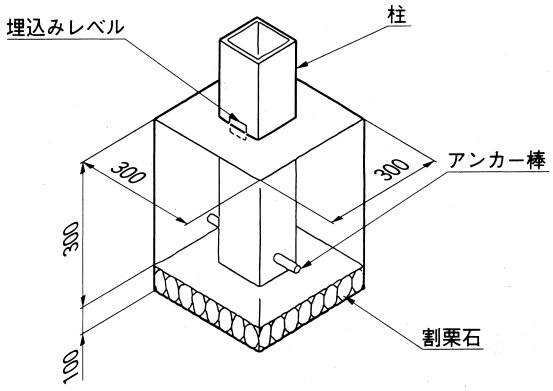
- 連棟仕様は開口2.5間からです。左側を基本桁とし右側へ連棟桁を取付けて下さい。連棟部の柱は、桁連棟部に設置してください。FタイプもRタイプもHタイプも桁寸法、柱施工位置は同様です。

2.規格表

●標準タイプ

名　　称		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	3.5間	4.0間	4.5間	5.0間	5.5間	6.0間	6.5間	7.0間
柱セット（ロング柱セット）	1本入	—	—	—	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3
	2本入	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
桁セット	1.0間	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1.5間	—	1	—	—	1	—	—	1	1	—	—	—	—
	2.0間	—	—	1	—	—	1	1	—	—	1	1	1	1
連棟用桁セット	1.5間	—	—	—	1	1	1	—	2	1	1	—	3	2
	2.0間	—	—	—	—	—	—	1	—	1	1	2	—	1
垂木セット	2本入	—	1	1	2	2	3	3	4	4	5	5	6	6
妻垂木セット	2本入	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—
	3本入	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1	—	1
屋根材セット	2枚入	1	—	2	1	—	2	1	—	2	1	—	2	1
	3枚入	—	1	—	1	2	1	2	3	2	3	4	3	4
出幅移動柱セット	1本入	必要数を標準の柱セットと入換えてください。												

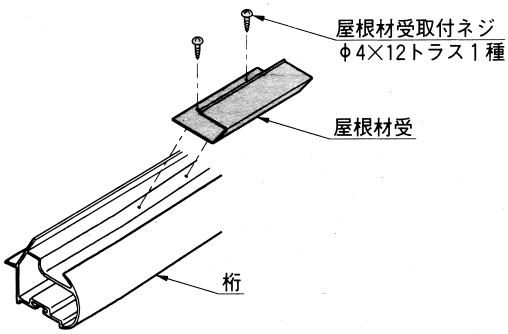
3.基礎施工 （以後の組付けはFタイプで説明します。基本的な組付けはF・R・Hタイプ共通です。）



❶ コンクリート施工は骨組完了後に行ない硬化後屋根材を組込んでください。

❷ アンカー棒は必ず施工してください。

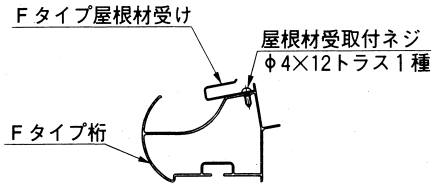
4.屋根材受けの取付け



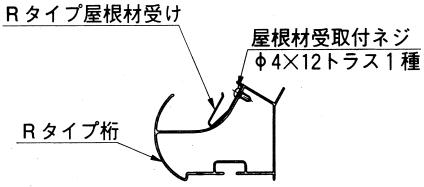
❶ Ｆタイプ、Ｒタイプ、Ｈタイプの桁に屋根材受けを取付けてください。桁にはあらかじめ、下孔があいてますので屋根材受け１個につき、２本のφ４×12トラス１種で固定してください。

<注 意>

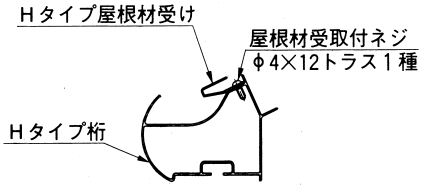
● 屋根材受は、一間につき２コ取付けます。



Ｆタイプ屋根材受け納り図

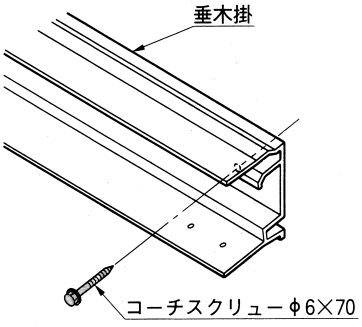


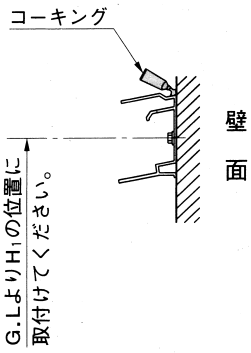
Ｒタイプ屋根材受け納り図



Ｈタイプ屋根材受け納り図

5.垂木掛けの取付け





	3R	4R	5R	6R
Fタイプ(H1㎜)	2714	2767	2820	2873
Rタイプ(H1㎜)	2851	2905	2958	3011
Hタイプ(H1㎜)	2838	2917	2944	3023

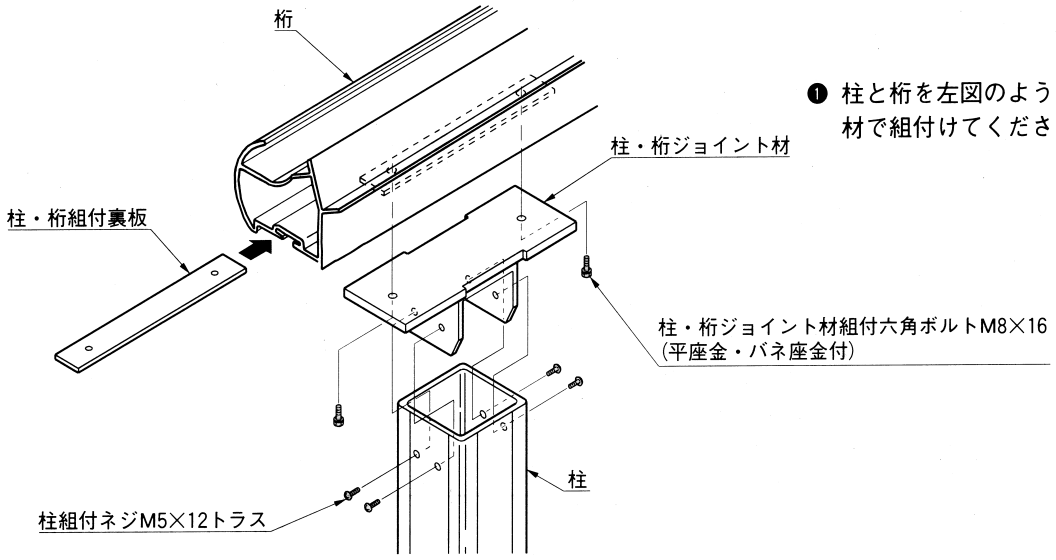
<注 意>

● ＦタイプとＲタイプ，Ｈタイプは施工位置が異なりますので御注意ください。

● 施工後、垂木掛と壁面にはコーキングを施してください。

● ロング柱使用時は、H_1＋500で施工してください。

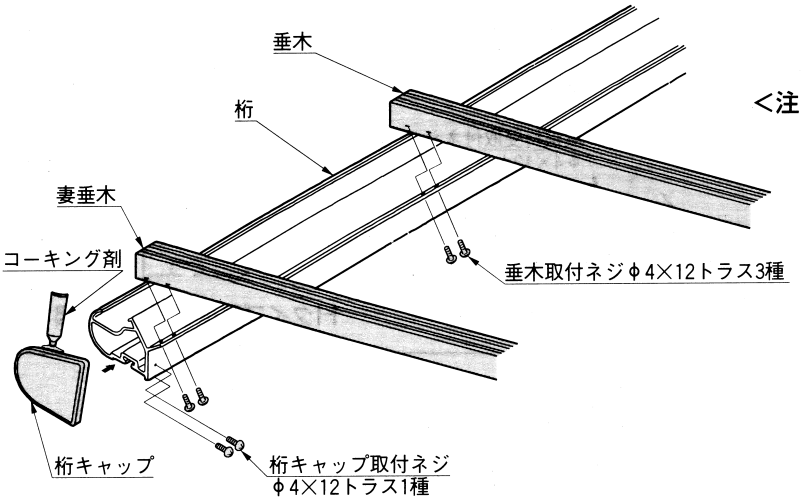
6.柱と桁の組付け



❶ 柱と桁を左図のように柱・桁ジョイント材で組付けてください。

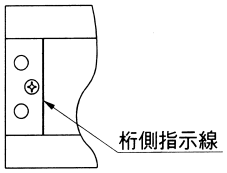
7.妻垂木と垂木の取付け

❶ 図のように妻垂木と垂木を桁、垂木掛の下側からφ4×12トラス3種で固定してください。

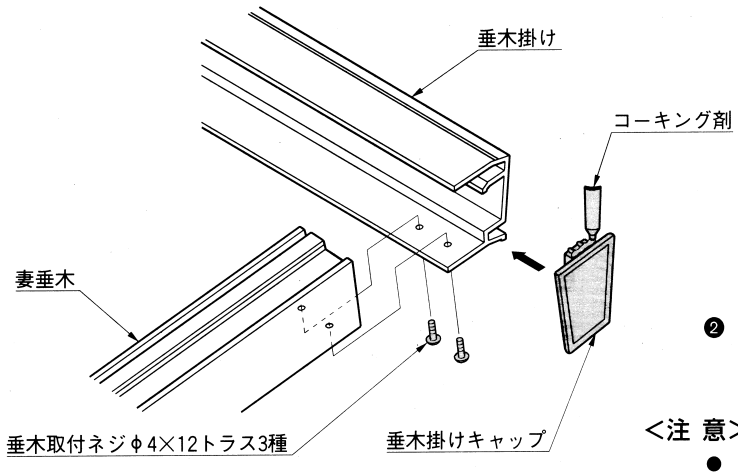


<注 意>

- この時、妻垂木・垂木の桁側・垂木掛側をテープ等で仮止めしておくと作業が容易です。
- 組付順序として妻垂木(左・右)を先に取付けてください。
- F・Hタイプの垂木の下側には指示線が引いてありますので、線のある方を桁側に施工してください。(A図参照)



A図

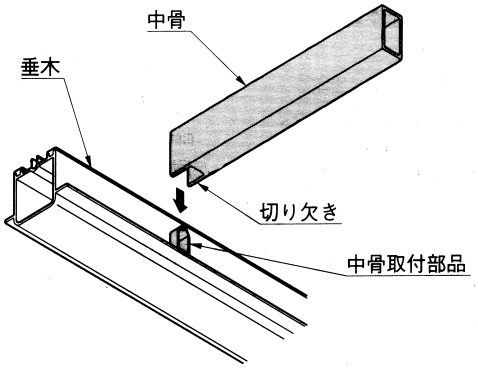


❷ 桁キャップ・垂木掛キャップにコーキングを施し、取付けてください。

<注 意>

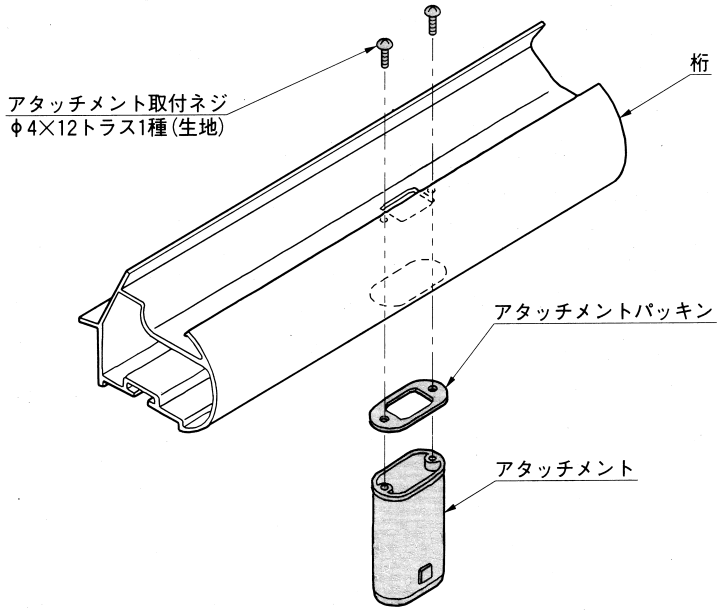
- コーキングが不十分ですと、雨漏りの原因となりますので、御注意ください。

8.中骨の取付け



❶ 中骨は、垂木に予め取付けてある中骨取付部品に中骨の切り欠き部を差込むようにして、取付けてください。

9.アタッチメントの取付け

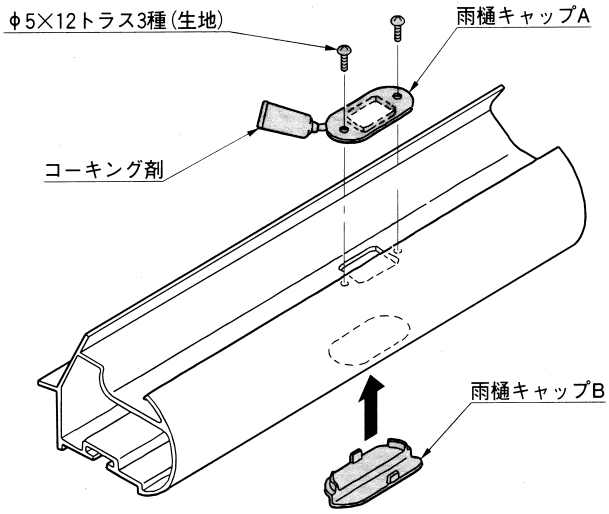


❶ アタッチメントパッキンとアタッチメントをφ4×12トラス1種(生地)で取付けてください。

<注 意>

- 屋根材を先に組付けますと、アタッチメントの取付けが困難となりますので、御注意ください。

10.雨樋キャップの取付け



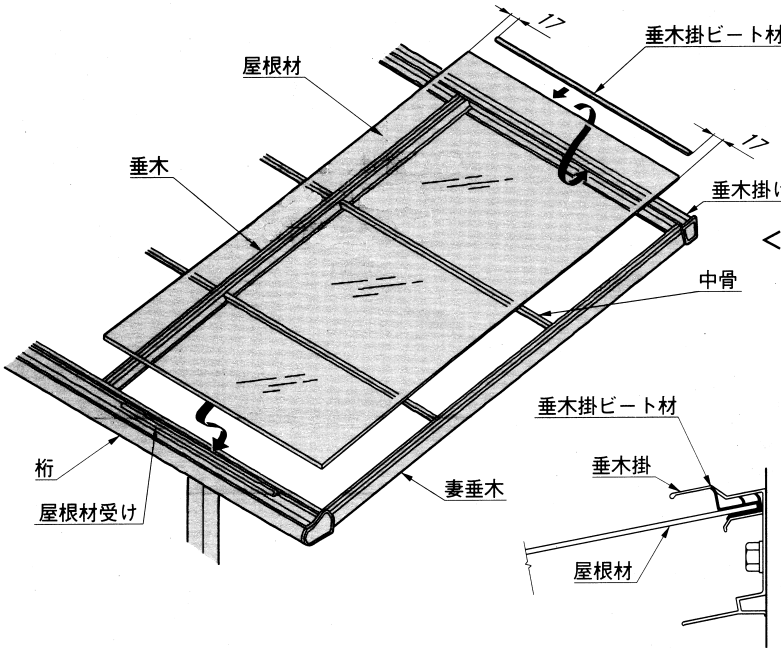
❶ 雨樋キャップAをφ5×12トラス3種(生地)で取付け、周囲にコーキングを施してください。

❷ 雨樋キャップBを桁の下側から、アタッチメント取付孔に取付けてください。

<注 意>

- コーキングが、不十分ですと雨漏りの原因となりますので、御注意ください。
- 屋根材を先に組付けますと、雨樋キャップの取付けが、困難となりますので、御注意ください。

11.屋根材および垂木ビート材の取付け



❶ 屋根材をのせる前に垂木掛ビート材を屋根材に取付けてください。（両端部から17㎜の位置に取付けてください。）

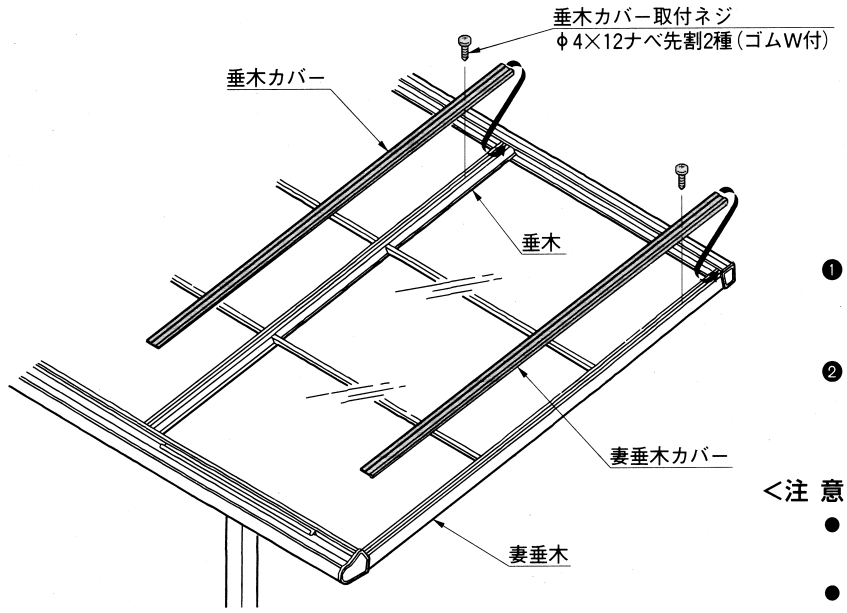
❷ 屋根材を垂木掛に差込んでください。

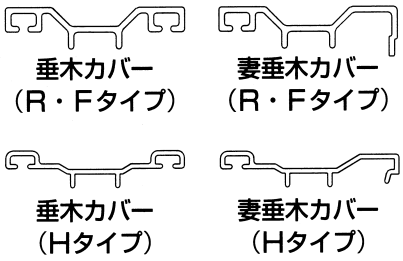
<注 意>

- 桁の屋根材受けに屋根材を差込み、垂木掛のみぞに押し込みます。このとき、たたきながら延ばすようにすると取付けが容易になります。
- 屋根材のマスキングシートは必ずはがしてください。

- 必ず屋根材は左図のように垂木掛の奥まで入れてください。雨もれの原因となります。

12.妻垂木カバーおよび垂木カバーの取付け





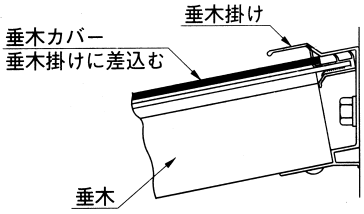
❶ 垂木カバーは左・右どちらかの妻垂木カバーより、1スパンごとに順次取付けてください。

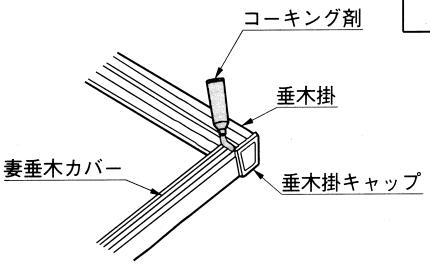
❷ 垂木カバー施工後、必ず垂木カバー・妻垂木カバーと垂木掛の飲み込み部にコーキングを施してください。

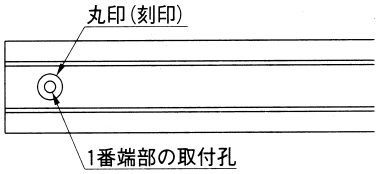
<注 意>

- 垂木カバー取付ネジは、垂木掛側から順次取付けてください。
- Hタイプの垂木カバー上側には刻印を打っています。刻印を桁側にして施工してください。（A図参照）

- 必ず、垂木カバー・妻垂木カバーは垂木掛に飲み込ませてください。

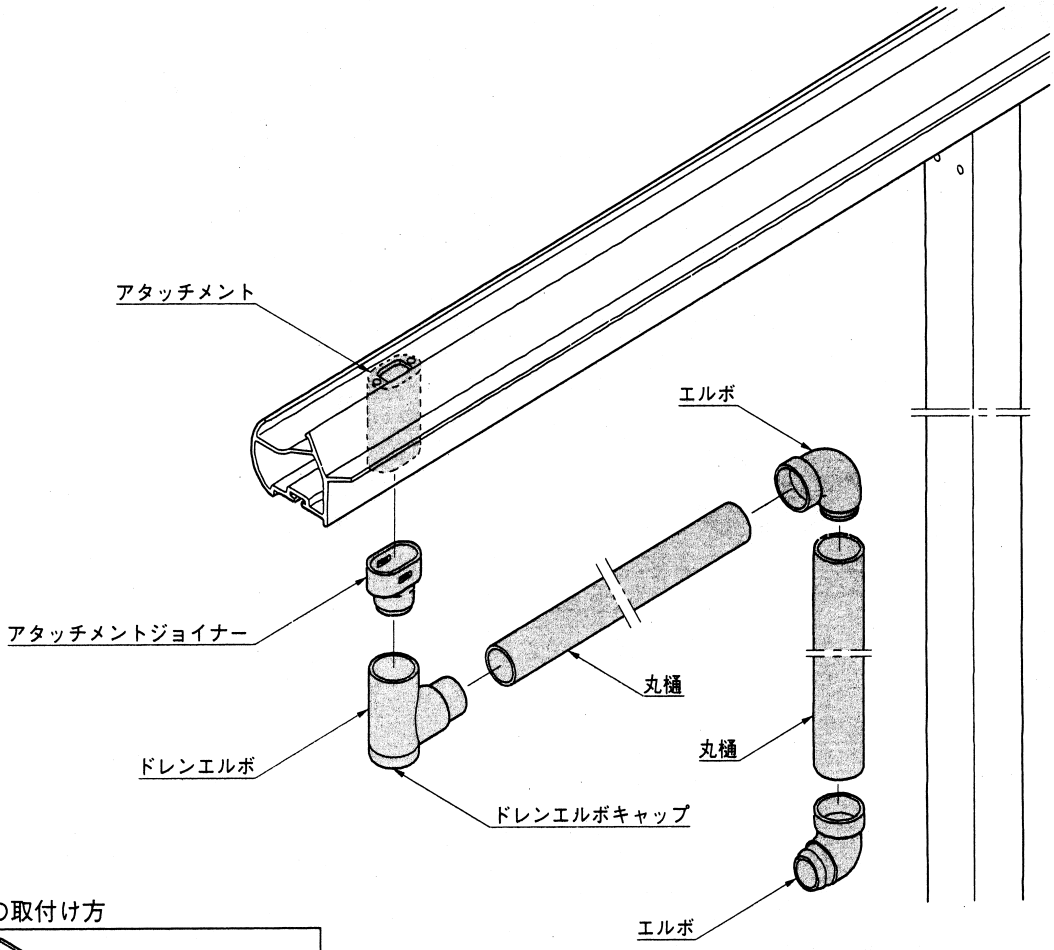




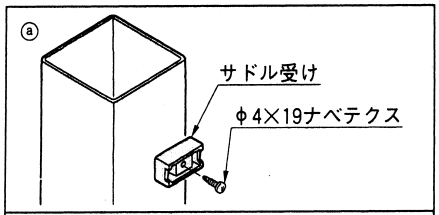


A図

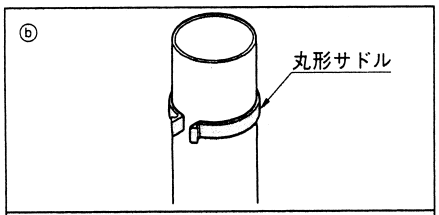
13.雨樋セットの取付け



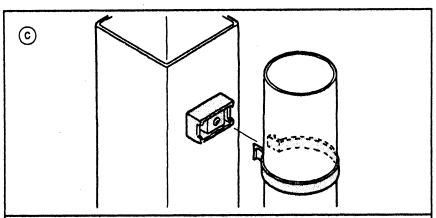
●サドルの取付け方



雨樋柱にビスでサドル受けを固定します。



丸形サドルはあらかじめ竪樋に差込んでおきます。



竪樋の付いた丸形サドルを雨樋柱に付いたサドル受けに取付けます。

❶ 雨樋セットを上図のように取付けてください。

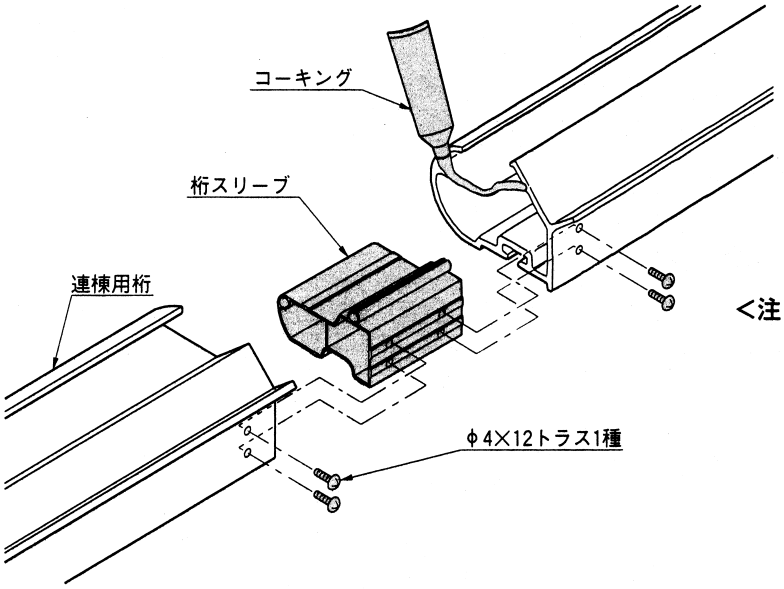
<注 意>

● 丸樋は、現場寸法に合わせて切断し、取付けてください。

❷ 各接合部を接着剤で固定してください。

ー連棟ー

1.桁の連結

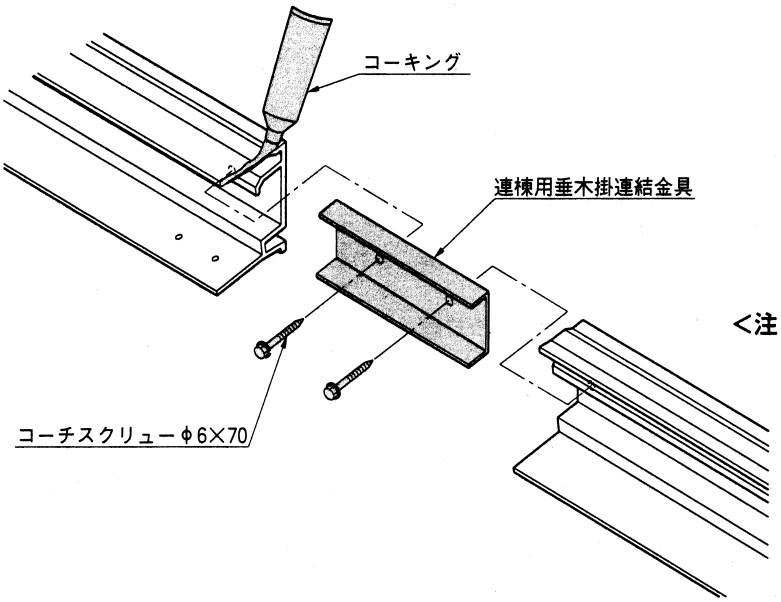


❶ 図のように取付けたのち、連結部をコーキングしてください。

<注 意>

● コーキングを行なわないと雨漏れの原因となります。

2.垂木掛けの連結



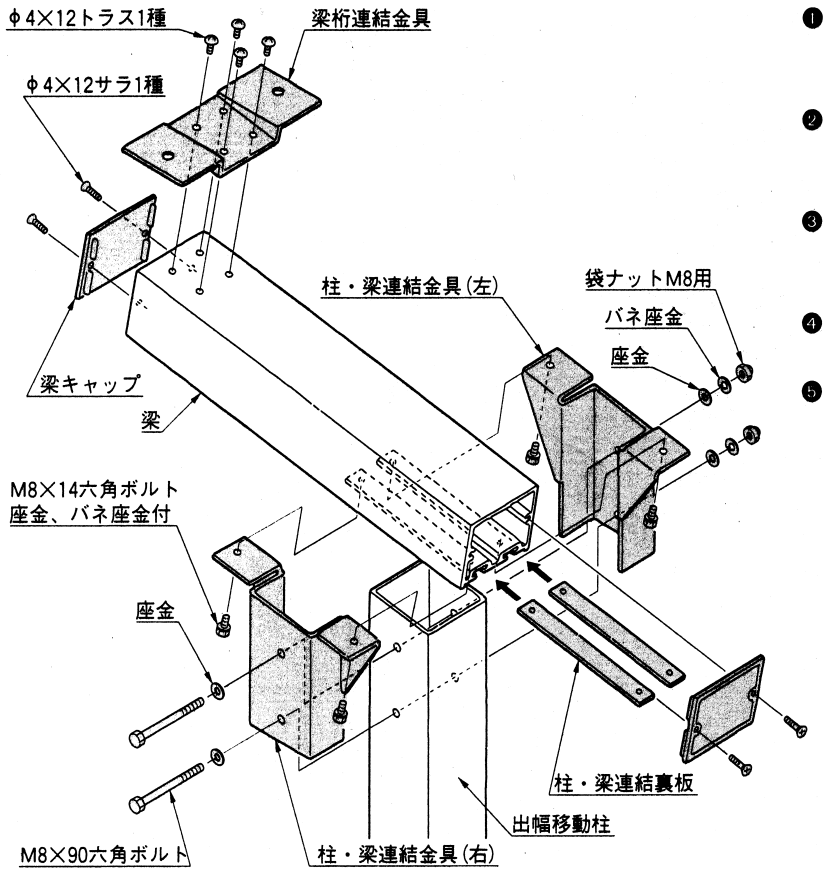
❶ 図のように取付けたのち、連結部をコーキングしてください。

<注 意>

● コーキングを行なわないと雨漏れの原因となります。

ー出幅移動柱ー

1.柱と梁の組付け



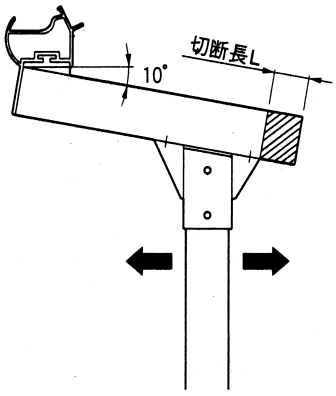
❶ 出幅移動柱と柱・梁連結金具を六角ボルトM８×90、袋ナット、座金、バネ座金で組付けてください。

❷ 柱の取付位置に合わせて、梁を切断してください。切断寸法は、連結金具や裏板の長さに注意して決めてください。

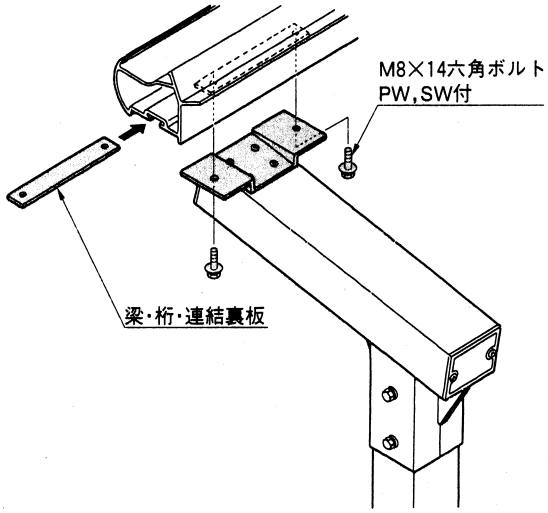
❸ 梁に柱・梁連結裏板を入れて、柱・梁連結金具とM８×14六角ボルトPW、SWで組付けてください。

❹ 梁と梁桁連結金具をφ４×12トラス１種で組付けてください。

❺ 梁キャップをφ４×12サラ１種で組付けてください。

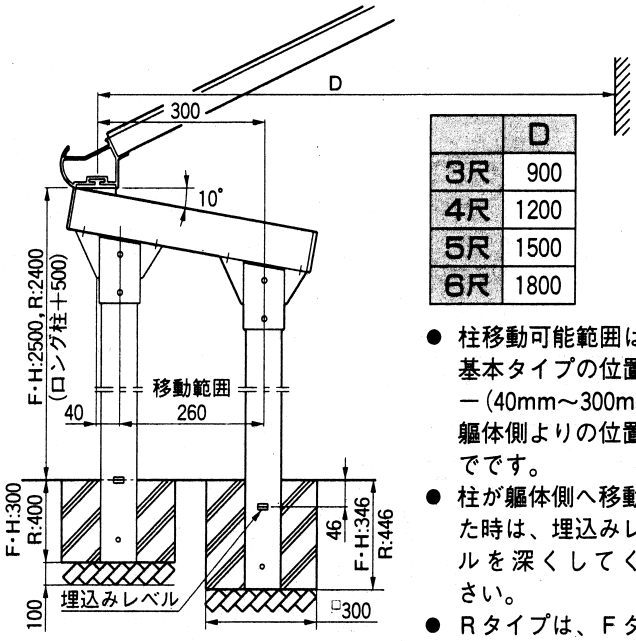


2.出幅移動柱と桁の組付け



❶ 出幅移動柱と桁を図のように組付けてください。

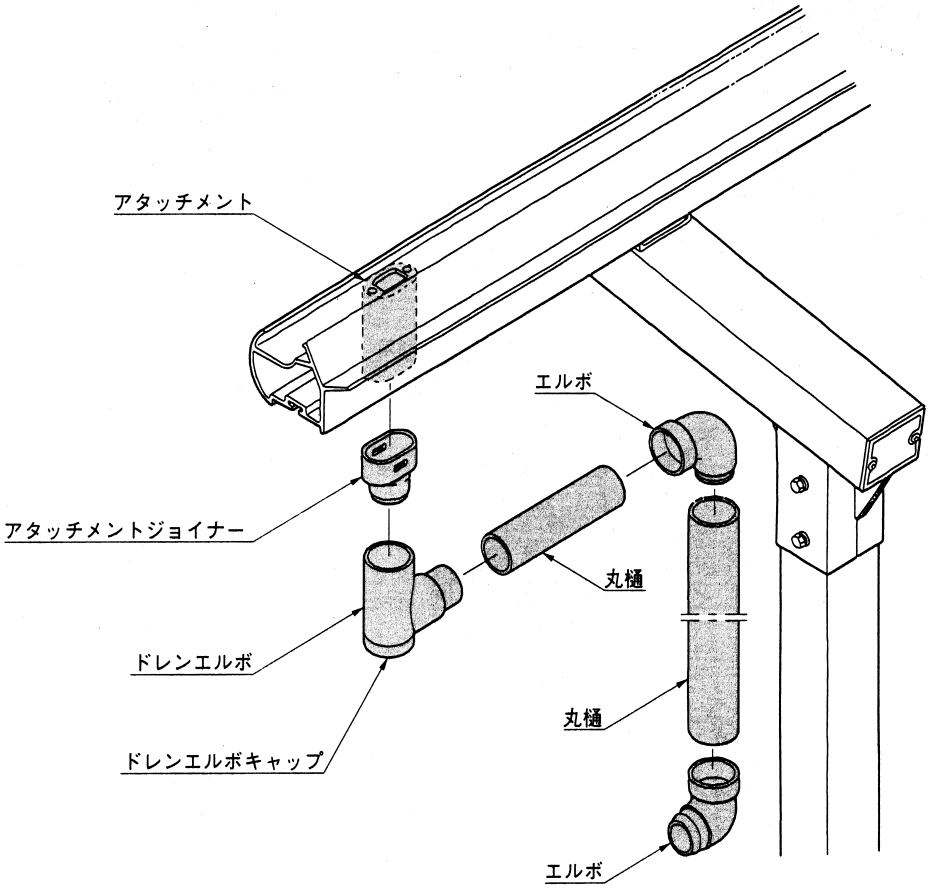
3.柱の固定



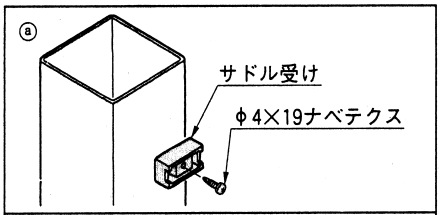
	D
3R	900
4R	1200
5R	1500
6R	1800

- 柱移動可能範囲は、基本タイプの位置D－(40mm～300mm)軀体側よりの位置までです。
- 柱が軀体側へ移動した時は、埋込みレベルを深くしてください。
- Rタイプは、Fタイプ・Hタイプより埋込みを100㎜深くしてください。

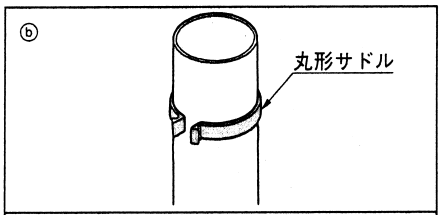
4.雨樋セットの取付け



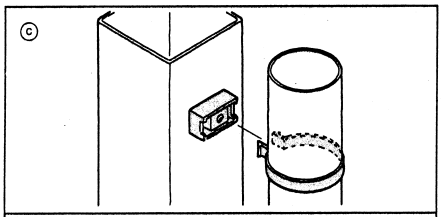
●サドルの取付け方



雨樋柱にビスでサドルⒷを固定します。



サドルⒶはあらかじめ竪樋に差込んでおきます。



竪樋の付いた丸形サドルを雨樋柱に付いたサドル受けに取付けます。

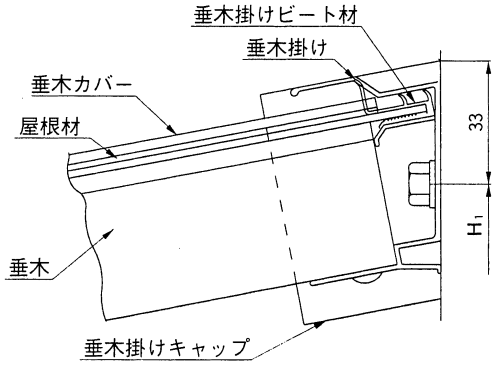
❶ 雨樋セットを上図のように取付けてください。

<注 意>

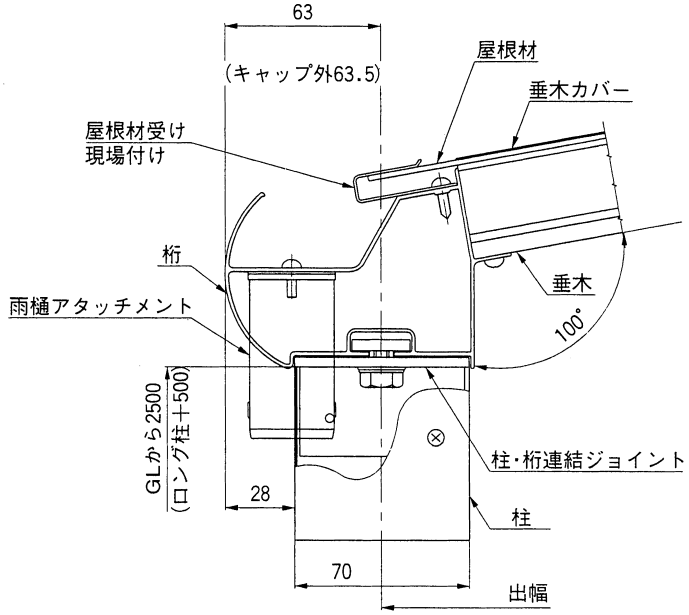
● 丸樋は、現場寸法に合わせて切断し、取付けてください。

❷ 各接合部を接着剤で固定してください。

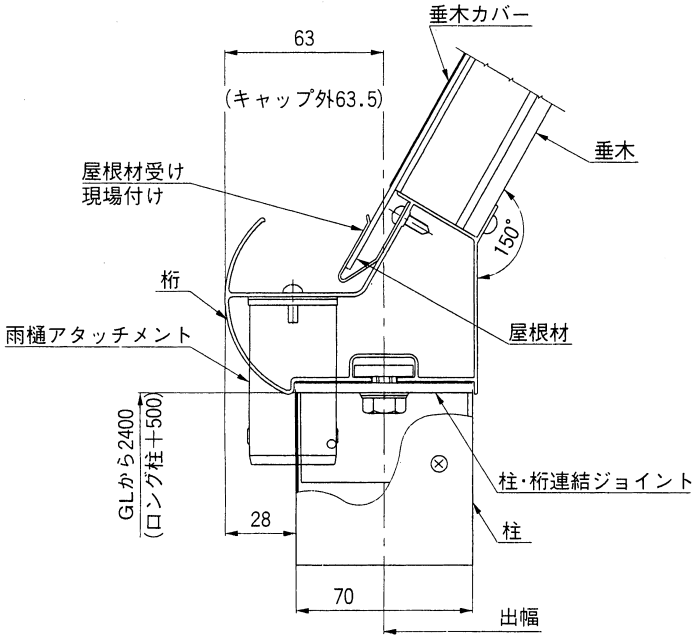
納り図



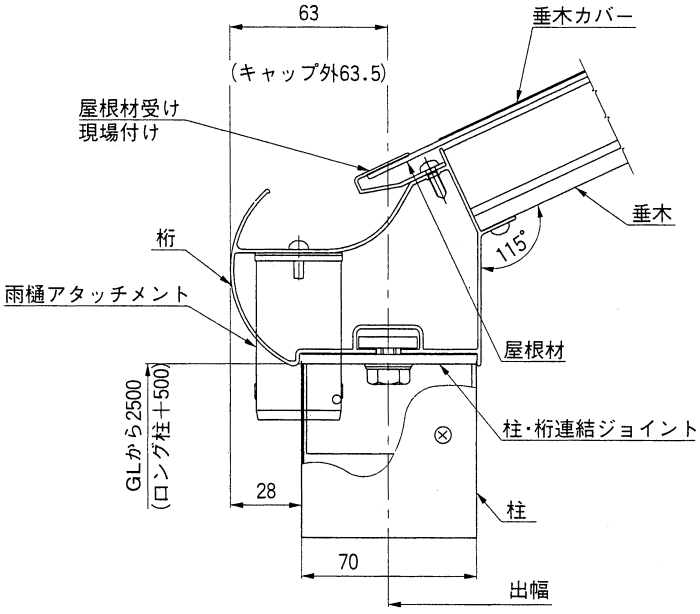
F・R・Hタイプ垂木掛け納り図



Fタイプ桁納り図

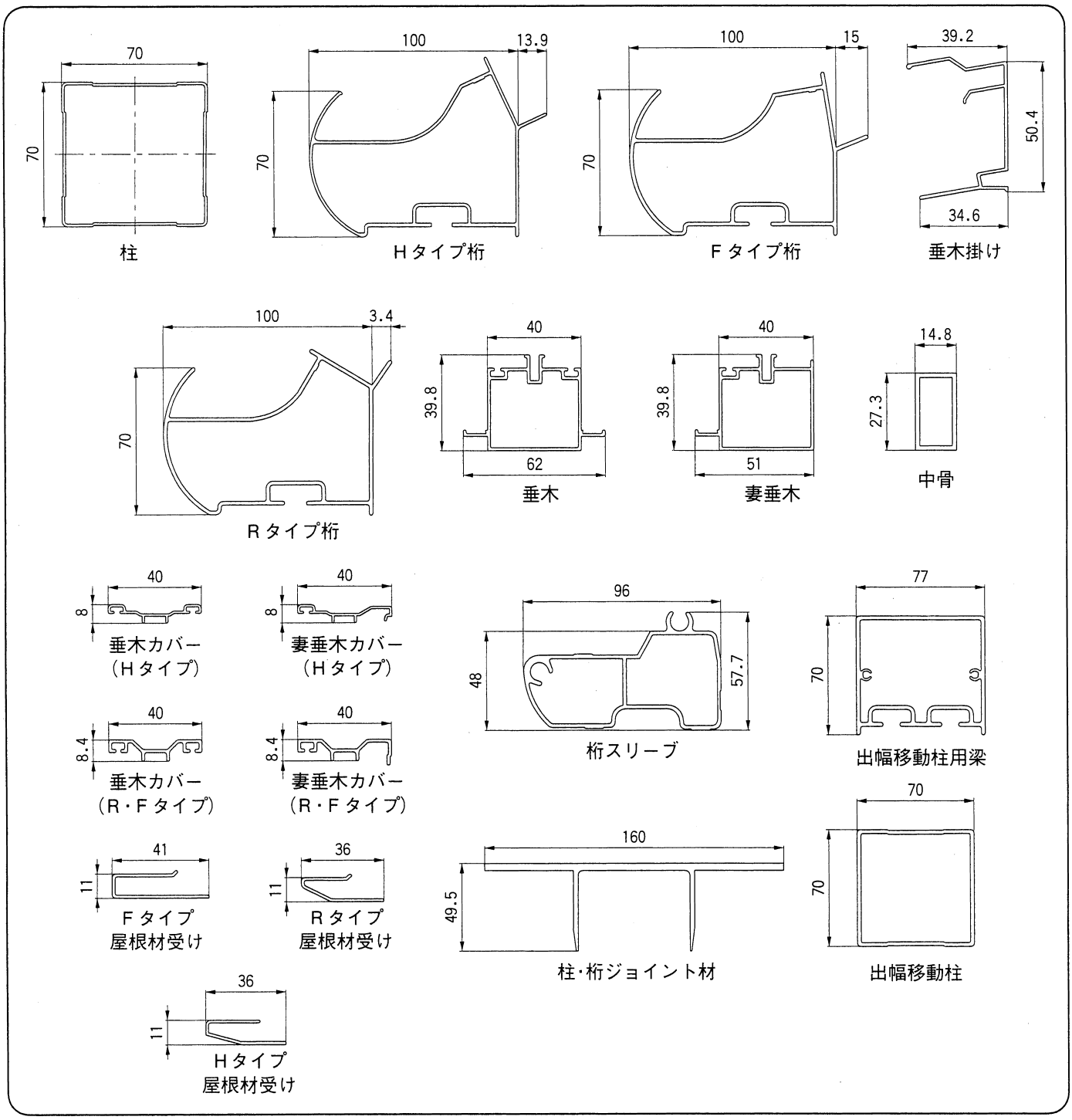


Rタイプ桁納り図



Hタイプ桁納り図

部材断面図



工事店様へ

- 豪雪地帯での施工は避けてください。
- みだりに改造、変更はしないでください。
- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。
  硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様へお渡し願います。
- ご使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- 積雪が20cmを越えないうちに必ず雪おろしをしてください。
- 絶対に屋根の上に乗らないでください。

取説コード
E057

97-05A
98-10B